

2019年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

宮城大学

2020年 6月

検証結果報告書

I . 規程及び体制等の整備状況

1 . 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

宮城大学動物実験等規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

問題なし

4) 改善の方針

該当せず。

2 . 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

宮城大学動物実験等規程

宮城大学動物実験専門委員会名簿

実験動物の飼育頭数報告

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

問題なし

4) 改善の方針

該当せず。

3 . 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

検証結果報告書

- | |
|--|
| 2) 自己点検・評価の妥当性
宮城大学動物実験等規程
2019年度動物実験計画書
2019年度動物実験等報告書 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
問題なし |
| 4) 改善の方針
該当せず |

4. 安全管理をする動物実験の実施体制

- | |
|---|
| 1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料
宮城大学遺伝子組換え実験安全管理規程
宮城大学動物実験等規程 |
| 3) 検証の結果
問題なし |
| 4) 改善の方針
該当せず |

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

- | |
|---|
| 1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料
宮城大学動物実験等規程 |
| 3) 検証の結果 |

検証結果報告書

問題なし

4) 改善の方針

該当せず

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

問題なし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

宮城大学動物実験専門委員会開催記録

宮城大学動物実験専門委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

問題なし

4) 改善の方針

該当せず

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

宮城大学動物実験等規程

2019年度動物実験計画書

2019年度動物実験等報告書

2019年度動物実験の自己点検票

検証結果報告書

3) 検証の結果

問題なし

4) 改善の方針

該当せず

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

宮城大学遺伝子組換え実験安全管理規程

宮城大学動物実験等規程

2019年度動物実験計画書

寄生虫の安全性に関する外部機関からの資料

2019年度動物実験報告書

2019年度動物実験の自己点検表

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善の方針

該当せず

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

宮城大学動物実験等規程

検証結果報告書

実験動物の飼育頭数報告

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

問題なし

4) 改善の方針

該当せず

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

2019年度飼養保管施設の自己点検票

実験動物の飼育頭数報告

宮城大学動物実験専門委員会議事録

3) 検証の結果

これまで動物代謝棟で飼育されていたマウスが、動物飼育室に移動したために、手狭となっている。加えて、一部の施設では、老朽化が激しく抜本的な対策が必要な状態が続いている。

4) 改善の方針

2020年度に動物実験棟の外装の補修が行われる予定である。しかし、実験棟の小動物飼育室の飼育頭数は限界となっており、動物実験棟内に新たな動物飼育スペースの確保が必要であることから、別の目的で使用されてきた部屋を動物飼育室に改修するための内装工事の早期実施が望まれる。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

受講者氏名の記録

講習会資料

検証結果報告書

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善の方針

該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2)) 自己点検の対象とした資料

宮城大学動物実験等規程
宮城大学ホームページ
動物実験の自己点検票

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

自己点検・評価報告書と併せて動物実験専門委員会の活動状況および実験動物の飼養保管状況等についても公開した。

4) 改善の方針

該当せず

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

意見

動物実験専門委員会が設置されてから、10年以上経過している。外部検証を受ける必要がある。